希望の杜だより

第１５号　2016年01月15日

障がい者取り巻く厳しい情勢

新年のご挨拶

理事長　菅原　隆

新年おめでとうございます。

昨年は、障がいをもつ方々の自立と社会参加に対して、ご支援ご協力を賜り感謝申しあげます。また、当法人及び事業所の運営に特段のご配慮をいただき重ねて感謝申し上げます。

障がいをもつ方々をめぐる情勢は厳しいものがあります。

介護・障がい分野の報酬単価の切り下げによる法人・事業運営への大きな影響、セーフティネットの最後の砦とされる「生活保護制度」の基準引き下げにより生活困窮者の増大、六十五歳になると介護保険優先原則の導入により障がい支援が受けられないことによる自己負担、介護保険の二割の応益負担の導入、「生活困窮者対策」を国が行わず社会福祉法人の事業として肩代わり・義務化しようとする「社会福祉法の改正」（参議院で継続審議）、その他いろいろありました。

そして、極めつけは、元最高裁判事や憲法学者が「違憲である」という「戦争法」を国民の大多数が反対しているにもかかわらず「強行採決」したことです。

「この法律は、日本が外国の戦争に巻き込まれることになり、日本を戦争のできる国にすることです。七十年前の戦争のとき日本では、障がいのある人は戦争のじゃまになる“穀つぶし・役に立たない非国民”といわれました。戦争は障がいのある人の命と、人としての権利を否定します。」（きょうされん理事会声明より）

以上の状況のなかで新年を迎えるわけで、事業所運営・障がい者支援も一層困難になることが考えられます。

特に、障がい者の切実な願いに答えない「総合支援法の見直し」は介護保険統合と一割負担復活をねらっています。継続審議になった「社会福祉法の改正」は福祉・介護・障がい分野の「市場化」をねらっているといわれます。

また当法人としては、財政の健全化と利用者への処遇改善、職員の確保と処遇改善、二十七年九月に原発事故による避難準備区域を解除された槐葉事業所の再開準備等々。

そういう状況のなかで、障がいをもつ方々が地域社会で生き生きと自立した生活ができるように支援に全力をつくす所存です。

今年も、ご支援・ご協力を賜りたくお願い申しあげ、新年のごあいさつとします。

自立と自律

常務理事　草野　滋章

師走の夜、城山の坂を上りながらこう考えた。「自分で考え、自分で決める。自分で暮らして、みんなと生きる。」障がい者の「自立」はこんな風に理解したら良いのではないだろうか。

ひるがえって、支援者としての職員に求められるのは「自律」であろう。

障がい者の伴走者であるべき職員が、物事を好き嫌いで決めてはいないだろうか。「私は今まで嫌いな人に出会ったことがない」とは映画評論家の故淀川長治氏の名言である。誰でも自分の過ちは過小評価し、他人の過ちは許せないものである。しかし、そこからは「思いやり」や「助け合い」の気持ちは生まれてこない。自分の気持ちを理解し、「自律」することこそが必要とされている。

「自分に厳しく、他人に甘く」

新しい年、はたして私たちは「自律」できるのであろうか？

杜のどーなつ

Daughnut & Cafe

２月１４日は、バレンタインデーです。
杜のどーなつのバレンタイン商品の販売期間は、２月１日～２月１４日となっております。
美味しいどーなつです、皆様のお買い上げをお待ちしております。

平成27年度　社会福祉法人　希望の杜福祉会職員研修会
『障がい者虐待　～障害者福祉施設従事者等編～』

2015年11月16日（月）、けやき共同作業所２階において法人内部研修が行われました。いわき市保健福祉課　権利擁護・成年後見センター係長　白土典子様に講師を依頼し、今一度、各施設で虐待等について考え方を改めることができました。

講義を受け、今回学んだことを職員一人ひとりが意識を高く持ち、虐待を「やらせない」「見逃さない」など、職員同士での確認や情報の共有が重要であり、このことを続けていかなければならないという事を再確認することができた良い機会となりました。

編　集　後　記

明けましておめでとうございます。昨年は、けやきまつりの復活など明るい話題がありました。今年も皆様に、明るい話題をお届けできるように力を合わせて行きましょう。

（鈴木・菅原）

社会福祉法人 希望の杜福祉会
〒970-8026
いわき市平字北目町39-10
TEL:0246-38-6201
FAX:0246-38-6202
HOME:http://kibounomori.or.jp
MAIL: kibou@kibounomori.or.jp

私たちは障がいのある方の自立と社会参加を支援しています

けやきまつり

お祭りでは、龍舞の皆さんと市内の高校のフラダンス部の皆さんが寒空の下、頑張って舞って盛り上げてくれました。迫力があって素晴らしかったです。

（利用者　Nさん）

私は、ドーナツ・から揚げ棒・ソーセージまん・たこ焼きを一生懸命あげました。お客さんから「美味しい」と言われ、とても嬉しかったです。

くじ引きなどで遊んで、とってもけやき祭りが楽しかったです。また、来年もけやきまつりをやりたいです。

（利用者　Yさん）

けやきまつりでは、欲しかったバッグが見つかってよかったです。フラダンスやみんなで歌を歌って楽しかったです。来年も参加したいです。

（利用者　Mさん）

けやき茶屋に勤めて一年、初めてのけやきまつり参加でした。

母と妹と私の三人で行きました。けやき祭りでは、よさこいを踊っている子供たちが嬉しそうに迎えてくれました。手作りの豚汁や焼きそばを食べて身体を温める事ができました。少し雨が降ってきましたが、たくさんの人がフラダンスなどの出し物を楽しんでいました。雨も次第に上がって楽しい一日でした。

（利用者　Sさん）

けやきまつりでは、たくさんの地域の方々にお越しいただき、大成功を収めることができました。地域の方々と触れ合える貴重な祭りでもあり、祭りを通して、障がいがある方の理解を深めてもらえる、とても良い機会となりました！

バザーやフリーマーケットなどでは、欲しい物を探し、楽しそうにお店を回っている地域の方、利用者さんの姿が見られました。たくさんの利用者さんから「また、来年もけやき祭りをやりたい」という声が聴けたことが嬉しかったです。

（あとりえ北山　スタッフ）